



しかほま自然観察会

# のらえもん

2021年度

No. 7

2021.09.04

『人も 自然も みんな友だち』

## 第7回活動 「ハゼを釣ろう」

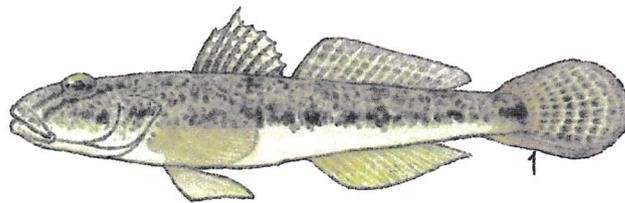
緊急事態宣言が9月12日まで発令されたため、  
やむなく中止！

キャンプのときの釣り堀り体験では、全員、一匹も  
釣れなかったため、このハゼ釣りで「気分高揚を！」  
と期待したのですが・・・。

もし、実施していたなら、次のような魚が釣れたはずでした。

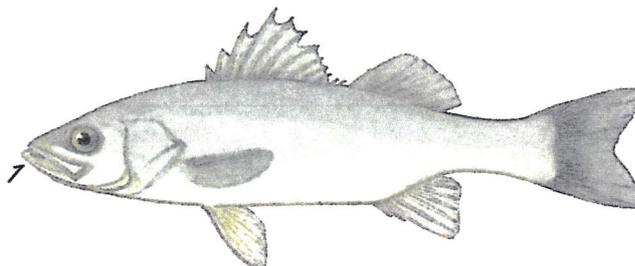
### マハゼ (スズキ目<sup>もく</sup>ハゼ科<sup>か</sup>) 全長 13～25cm

体の色は茶色で黒っぽい大きなはん点<sup>なら</sup>が並びます。背びれ<sup>せ</sup>や尾びれ<sup>お</sup>にはしま模様<sup>もよう</sup>がありますが、尾びれ<sup>お</sup>の下側<sup>がわ</sup>には模様<sup>もよう</sup>がありません。



### スズキ (スズキ目<sup>もく</sup>スズキ科<sup>か</sup>) 全長 100cm

体はやや細長く、体の色は全体的に青みがかった銀色です。口が大きく、下あごが少しつき出ています。



スズキは出世魚で、コッパ(稚魚)→セイゴ(幼魚)→フッコ→スズキと呼ばれています。のらえもんでは、セイゴをたくさん釣っています。

## 「釣りだーいすき！」

釣り師：福藤 恭司

こんにちは。

いつもハゼ釣りで講師をさせて頂いております福藤と申します。

のらえもんのハゼ釣り教室も、足掛け14年程となりました。昨年はなんとか出来ましたが、今年はコロナ禍で中止となり、とても残念です。

さて、古高先生より、私の大好きな海釣りについてお話させて頂くことになりました。

初めての釣りは、小学四年生くらいに父と川でのウグイ釣りでした。今は釣り船に乗り合わせての沖釣りがメインで、主にヒラメ釣りに熱中しております。

一番うれしかったことは、7kg・82cmの大きなヒラメが釣れたことです。ヒラメを始めてまだ2回目の時で、自分でもビックリしました。

また、時には、目前で魚がはずれてしまったことも何度かあります。その時は、船長から「今日は、魚の勝ちだね（笑）」との一声、「よーし、次は頑張るぞ！」と、心に決めたものです。

自然相手ですから、海や天気の急な変化はつきものですが、一番怖かったことは突然の雷です。大海原の上でバリバリと鳴り、あわてて船室へ飛び込みました。今思い出してもヒヤッとします。

最後に、釣りは船だけでなく、海辺や川と様々な場所で出来る楽しみかと思えます。また、仕掛けを作ったり、道具を手入れしている時も釣りをしている気分になります。

早く世の中が落ち着いて、皆さんと、また楽しくハゼ釣りがしたいです。



講師：福藤 恭司

追記：福藤様には、毎回、エサと仕掛けの用意をしていただきました。

また、釣りの前日には、自から川の状況を確認しに行き、たくさん釣れるようにとご配慮いただきました。

「釣りの好きな人がいる！」という情報が入ったのがきっかけで、このハゼ釣り活動が始まりました。

私の一番の思い出は、一本竹を磨きウルシを塗り、乾かし、仕掛けを作り、その竿を持ってみんなで釣りに行った平成19年（2007年）7月14日・7月28日・8月4日の一連の活動です。

ウルシを塗った竿を廊下に並べ・乾かしているそばを、子どもたちが興味深そうにながめていた光景を、いまでも鮮明に覚えています。